

海上の森自然観察会

テーマ 春の花を楽しもう

日時 2015年3月21日(土) 10:00~14:30 (曇り/晴)

参加者 一般:1名(子ども0)

指導員:6名

4月中旬頃の暖かな陽気で、絶好の観察会日和です。クロモジやスマレの仲間などが咲き始めており、テーマは「春の花を楽しもう」です。

駐車場を出てすぐにヒサカキの花が咲いていました。せつかなので、雄花と雌花を探して、違いを確認しました。キブシも花を分解して雄しべと雌しべの形状から雄花、雌花、両性花の違いを見ました。四つ沢の近くでシュンランの花を見ました。残念なことです。最も見やすい位置にあった株が誰かに盗られたらしくなくなっていました。その後、篠田池方面にスマレサイシンの花を目指しました。これは主に日本海側に分布するスマレ科の植物で、太平洋側で見られるのは珍しいことで



(アオイスミレ)

です。スマレの仲間はこの他にノジスマレ、マキノスマレ、アオイスミレ、タチツボスマレ、ニオイタチツボスマレ、コタチツボスマレを見ることができました。この他に目についた花はクロモジです。花が咲いていないと気づかないのですが、この時期は花が目立つので、たくさん生育していることが分かりました。同じクスノキ科のダンコウバイも咲いていて、花の違いを確認することができました。

前日の下見では篠田池にオンドリ 10羽程がいたので、今日も期待していたのですが、カメラを持った人に聞いたところ、オンドリ 2羽がいたが、飛び去ってしまったとのことでした。残念!。それでも、カイツブリ、ホシハジロ、カルガモを見ることができました。

暖かくなったので、テングチョウやルリタテハなどのチョウが飛んでいるところも目につきました。チョウなどならいいのですが、駐車場から篠田池付近までずっと目の周りを飛ぶたくさんの黒い小さな虫に悩まされました。顔にかぶる虫除けの網を忘れてしまったと後悔している参加者もいました。後日、この黒い虫はヒゲブトコバエ(別名クロメマトイ)という双翅目の昆虫ということを知りました。昨年、宿主のオオワラジカイガラムシがたくさん発生し、それに寄生するヒゲブトコバエが今年はいくら以上に多いということです。

篠田池から少し南に行った所にある水たまりに数匹分と見られるヒキガエルの卵塊がありました。最近、カエルの産卵が減っているということが気になります。

今回は海上の森を知り尽くしたYさんが参加され、海上の森の珍しい植物のある場所を紹介して下さい、たいへん興味深く回ることができました。

前任のOさんからここの定例観察会を引き継いで3年間担当してきましたが、4月からは一宮市で新たに定例観察会を立ち上げるため、今回が私の担当する最後の観察会となりました。ご参加くださったみなさん、ありがとうございました。4月からはUさんとGさんがここの定例観察会を引き継いでくださいますので、引き続き、ご支援をお願いします。(報告: 齋竹善行)

<その他観察できたもの>鳥: ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、スズメ、ヒヨドリ、キジバト、ハシブトガラス、モズ 虫: ヒオドシチョウ、コツバメ、キタキチョウ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ、ルリシジミ、コムラサキ(幼虫)、ハスオビエダシヤク、シロテンエダシヤク、オカモトトゲエダシヤク、ピロードツリアブ、ウバタマコメツキ、コガタリハムシ、ナミテントウ 爬虫類: トカゲ

花: アセビ、ショウジョウバカマ、ヒメカンスゲ、ミチタネツケバナ、タネツケバナ、ヤブツバキ、スズカカンアオイ、ハルリンドウ、ヤマウグイスカグラ、ミドリハコベ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ニホンタンポポ、オオイヌノフグリ、ミツバアケビ(蕾)、オオカメノキ(蕾)

<前回の報告の訂正> 2月例会の報告で本文と写真のキャプションで「クロゴマダラシジミ」と書いてしまいましたが、正しくは「ウラゴマダラシジミ」でした。訂正いたします。